

生研ニュース

☆講 演☆

- ◇教授 山辺武郎, 助手 妹尾学 「界面動電現象とくに膜現象の問題」 電気化学協会の最近における電極反応論的考え方の工業への応用に対する講習会で講演 電気倶楽部ホールにおいて (1964. 11. 25)
- ◇助手 合田周平 「ガン患者の統計的処理」 1964. 12. 日本 ME 学会シンポジウム, 最近の ME No. 7 東京大学医学部講堂において (1964. 12. 12)

☆寄 稿☆

- ◇助手 朝倉利光 「光学国際会議—その歴史と会議報告」 日本物理学会誌 19, No. 11 719~723 (1964. 11)
- ◇助手 朝倉利光 「レーザ干渉計」 日本物理学会誌 19 No. 11 754~755 (1964. 11)
- ◇教授 山辺武郎, 千葉大学留学生部助手(元本所技官) 斎藤田鶴子, 助手 妹尾学 「混合溶媒における $H^+ - Na^+$ 系のイオン交換平衡」 日本化学雑誌 85, 745~748 (1964. 11)
- ◇助教授 山口楠雄 「計算制御について」 硫安技術 17, 6 11~17 (1964. 12. 25)

☆著 書☆

- ◇助教授 後藤信行 ユニットプロセスシリーズ・ハロゲン化「第1章ハロゲン化反応概説」 化学工業社刊 (1964. 10. 31)

☆人 事☆

- ◇第5部 池辺陽助教授は教授に昇任した (昭和40年1

月1日)

☆海外渡航☆

◇本所所長岡本舜三教授と、第5部久保慶三郎教授は、ニュージーランドのオークランド、ウエリントン両市で開催される第3回国際地震工学会議に出席し、またオーストラリア、アメリカ合衆国において地震工学上の諸問題について連絡協議のため1月19日出発し、帰国は2月4日の予定。なお、この会議には新潟地震で得られた貴重な資料などを初公表するため、わが国の地震工学関係の学者が多数出席するが、岡本所長は団長として参加する。

☆国際写真測量学会・委員長就任☆

第5部 丸安隆和教授は、国際写真測量学会第5部会(写真測量の応用)の委員長に推薦された。

生研ニュース

表紙の色について

ことし1年間の表紙の淡藍調の色は星野昌一教授に選んでいただいたものを日光堅牢度 (Light Fastness, 1~8 級まであり、数の多いほど堅牢、4級より堅牢といえる) の高い顔料を用いたインキで印刷したものである。顔料の成分はモリブデンレッド (L. F. 7~8)、フタロシアニンブルー (L. F. 7~8) とチタンホワイト (L. F. 7~8) で申分ない。この印刷インキは東洋インキ製造株式会社の調製で、同社より1年分の寄贈をうけた。 (出版掛)

☆筆 者 紹 介☆

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ◇岡本舜三 所長 工博 専攻 構造力学 | ◇嶽沢維徳 技官 専攻 電気回路学 |
| ◇星本健一 大学院学生 専攻 精密工学 | ◇生沼徳二 技術員 専攻 電気回路学 |
| ◇高橋幸伯 助教授 工博 専攻 船体構造学 | ◇石川英敏 研究員 専攻 建築環境学 |
| ◇尾上守夫 教授 工博 専攻 応用電子工学 | ◇寺沢達二 助手 専攻 建築環境学 |
| ◇森脇義雄 教授 工博 専攻 電気回路学 | ◇板本守正 大学院学生 専攻 建築環境学 |
| ◇高羽禎雄 助教授 工博 専攻 電子管工学 | |

出版委員	委員	高橋 幸伯	委員	石井 聖光	専門委員	星野 昌一
出版委員長 星 塾 和		*高羽 禎雄		小林 一輔		菊池 真一
委員 山田 嘉昭		藤井 陽一				
成瀬 文雄		山辺 武郎			編集室	水野 晴明
*松永 正久		西川 精一				
水町 長生		明石 和夫				

*印当番委員

第17巻 第1号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

1965年1月1日 発行

印刷所 三美印刷株式会社

東京都荒川区日暮里町 8-93

発行所 東京大学生産技術研究所

東京都港区麻布新電士町10

電話 (402) 6231 (代表)

千葉実験場 千葉市弥生町1

電話 千葉 (51) 8311 (代表)

頒価 110円

編 集 者 星 塾 和
発 行 者 岡 本 舜 三